

# 淡海エコフオスター通信

～美しいまちづくりを目指して～

発行：滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課 TEL/077-528-3492 FAX/077-528-4845 E-MAIL/df00@pref.shiga.lg.jp

## エコフオスター紹介〈大津管内〉

### 株式会社大伴組

**活動場所 主要地方道伊香立浜大津線  
(滋賀里ランプ北から京阪滋賀里駅)**

大津市滋賀里で建設業を営む株式会社大伴組は、同じくエコフオスター団体である有限会社オオトモ（活動場所：主要地方道伊香立浜大津線京阪穴太駅から滋賀里ランプ北）と合同で毎月第4土曜日の朝7時から10名～20名程度でエコフオスター活動をされています。

平成24年6月に活動を始められた当初は空き缶や弁当の殻等たくさんのごみが捨てられていたが、活動の成果もあり、最近ではごみの量が随分減ってきているようです。

当日取材した滋賀里ランプ北から京阪滋賀里駅までの区間については、線路側の溝にごみが集中しており、当日も丹念に拾われていました。ごみの種類としてはたばこの吸い殻が多いそうです。



大津市、高島市といった地元での仕事が多いため、エコフオスター活動を始められる前から仕事の現場ごとに草刈りやごみ拾い等を行うことにより、地域貢献に努められており、エコフオスター活動についても今後も続けていきたいとのことでした。



活動後は仕事の現場に向かうとのことでエネルギー的な印象を受けました。地元と共に歩む企業として引き続きのご活躍を期待しています。

(循環社会推進課)

## 清掃道具の提供について

滋賀県環境事業公社では、今年度美化清掃活動されるエコフオスター団体に対して清掃道具（火バサミ3本、軍手1ダース）を先着100団体に無料で提供します。申込み期間は平成26年5月12日（月）～平成27年1月30日（金）までです。詳細は下記にお問い合わせ下さい。

### 【問い合わせ先】

公益財団法人滋賀県環境事業公社

〒520-3411

滋賀県甲賀市甲賀町神645

TEL：0748-88-9191

FAX：0748-88-6322

Email：ccs-kousha@kouka.ne.jp

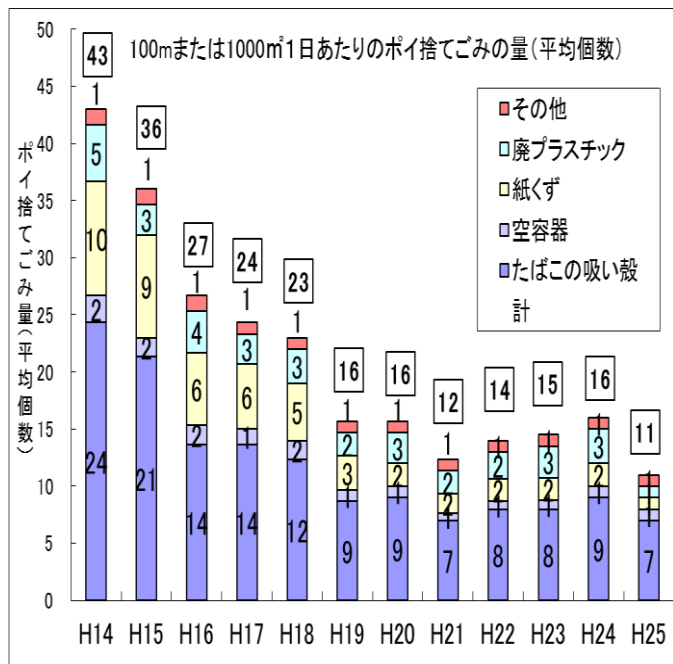
ホームページ

<http://www.shiga-kj.com/news/index.html>

## 平成25年度散在性ごみ定点観測調査結果

滋賀県では、散在性（ポイ捨て）ごみの実態等を特定の場所において定期的に調査し、ポイ捨て防止対策に資することを目的として、平成14年度から継続して定点観測調査を実施しています。

調査方法は、調査箇所（道路路肩、湖岸および公園・広場の一定範囲）において一旦ごみを全て回収し、数日を置き、再び回収したごみを置いた日数で除して、1日あたりのポイ捨てされたごみの量（個数）を計算するものです。平成25年度は県内38箇所で行いました。

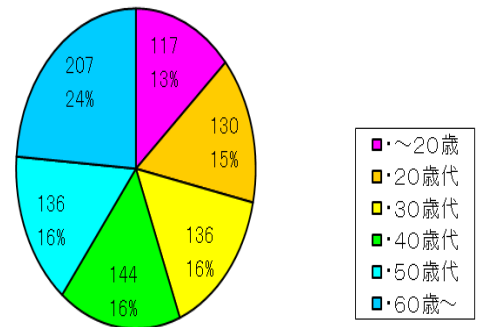


1日あたりのポイ捨てごみの量は平成19年度以降横ばい傾向でしたが、平成25年度は減少し、平成14年度の調査開始以来最も少ない量となりました。

## 平成25年度ポイ捨てごみについてのアンケート調査結果

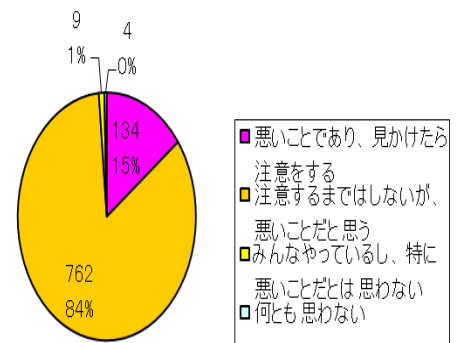
このアンケート調査は、散在性ごみ対策の一環として、県民の意識の変化を長期的に把握し、今後の対策の参考とするため、平成17年度より実施しています。平成25年度は、県内各地で県内在住および来県者のみなさん870人の方にご協力をいただきました。調査結果については以下のとおりでした。

### [回答者の年齢構成]



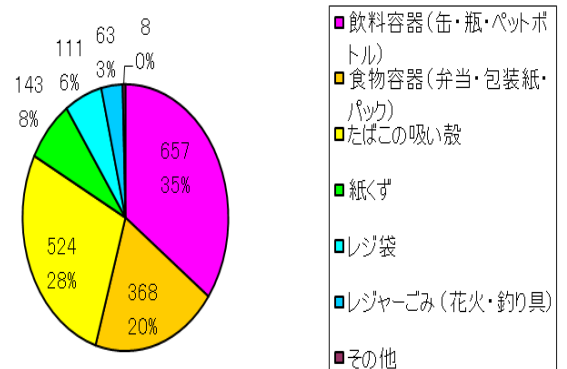
回答者の年齢が偏らないように調査を行いました。

### [ポイ捨てに対する思い]



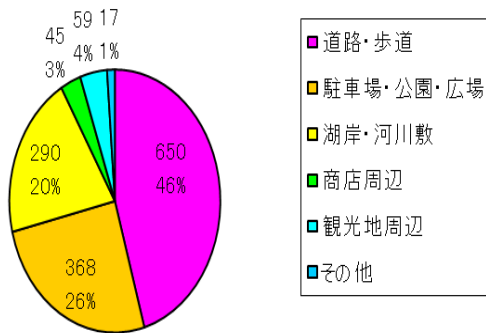
ポイ捨てについては99%の方が悪いことであると認識されています。

### [捨てられているごみの種類]



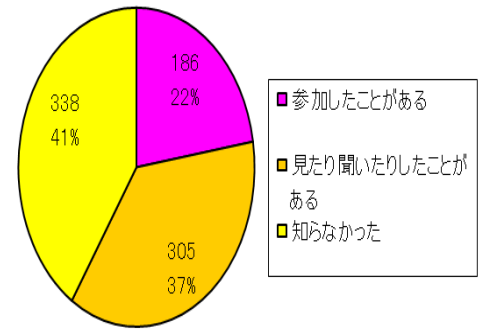
捨てられているごみの種類については、回答の約半数を飲料や食物の容器が占めました。また、たばこの吸い殻が28%を占めています。

### [ごみが捨てられている場所]



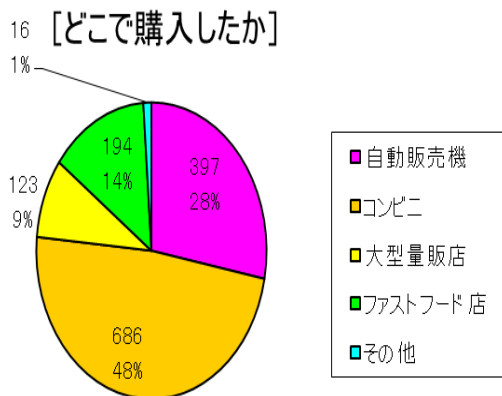
ごみが捨てられている場所については、道路・歩道という回答が46%を占めました。

### [ポイ捨て防止に関する活動について]



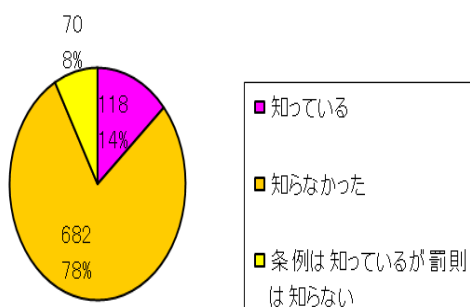
清掃や啓発活動など、ポイ捨て防止に関する活動について意識されているかの質問には、「参加したことがある」が22%、「見たり聞いたりしたことがある」が37%、一方で「知らなかった」と回答された方が41%いらっしゃいました。

### [どこで購入したか]



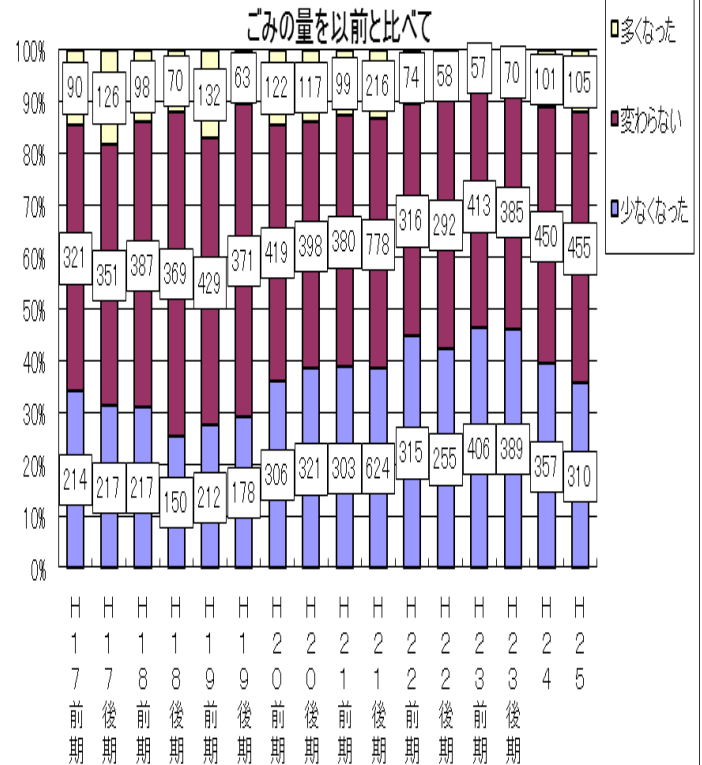
捨てられているごみがどこで購入されたものとお聞きしたところ、コンビニエンスストアだと思いう回答が48%を占めています。

### [条例に罰則があることについて]



滋賀県では『滋賀県ごみの散乱防止に関する条例』(通称、クリーン条例)により、ポイ捨てごみの回収命令違反者には2万円以下の罰金が科せられます。このことをご存じかお聞きしたところ、86%の方が罰則を知らないと回答されました。

### ごみの量を以前と比べて



ポイ捨てごみの量が以前と比べてどうなったかの質問については、平成25年度は約36%の方が「少なくなった」と回答され、「多くなった」とする方の3倍となっています。これは、エコフオスター活動を行っている皆さんをはじめ、多くの方々の環境美化への取組の成果であり、感謝しております。

ただし、「少なくなった」とする方の比率が2年連続で低下しており、また約52%の方は以前と変わらないと感じておられることから、県としても、引き続きごみのポイ捨て防止に向けて取り組んでいきたいと考えております。



# 淡海エコフオスター通信

~美しいまちづくりを目指して~

発行：滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課 TEL/077-528-3492 FAX/077-528-4845 E-MAIL/df00@pref.shiga.lg.jp

エコフオスター紹介 南部管内

末吉工業株式会社

活動場所：県道草津守山線  
(南山田町から木川町)

今回の活動紹介は、草津市の末吉工業株式会社さんです。末吉工業さんは、平成 22 年 4 月から淡海エコフオスター事業に登録され、県道草津守山線(湖南幹線)の南山田町交差点から木川町交差点の約 650m の範囲において、毎月第 3 土曜日の午前中に活動されています。

取材当日、資材を積み込んだトラックで現場に到着された 6 名のみなさんは、テキパキと準備を進め、慣れた手つきで清掃活動をされていました。道路沿いに大型店舗などが並ぶため、通行する自転車や歩道を横断する自動車も多く、危険なこともあることから、みなさん安全ベストを着用されていました。



活動を始めたころは、みなさんのごみ回収袋がいっぱいになるほど、空き缶などのごみがあったようですが、「最近は見えて少なくなった」とのことです。取材当日も落ちているごみのほとんどが吸殻やお菓子の袋などの小さなものでした。

活動を行っている時、「ご苦労さま」と声をかけてくださる方もあり、また、「道路がきれいになっていくのも気持ちが良い」と話してくださいました。



どなたにお伺いしても、活動で苦労と思うことは特にないとのことで、自発的に取り組んでいらっしゃる姿が印象的でした。

楽しみながら環境美化を進めていらっしゃることに、改めて感謝の言葉をお贈りしたいと思います。

(南部環境事務所)

## 平成 26 年度 環境美化運動について

滋賀県では、「滋賀県ごみの散乱防止に関する条例(通称：クリーン条例)」において、5月30日、7月1日(びわ湖の日)、12月1日の3日間を「環境美化の日」と定めています。

この「環境美化の日」を基準日として、前後2週間程度の期間に県、市町、各種団体・企業などが主体となって、県民総参加で環境美化運動を行っています。

このたび、平成 26 年度の活動期間が下記のとおり決まりました。お住まいの市町でも、この期間を中心に様々な活動が実施されますので、皆様の積極的なご参加をお願いいたします。

### ごみゼロ大作戦

基準日 5月30日

期間 5月25日～6月8日

### びわ湖を美しくする運動

基準日 7月1日

期間 6月22日～7月6日

### 県下一斉清掃運動

基準日 12月1日

期間 11月23日～12月7日

# 淡海エコフオスター通信

～美しいまちづくりを目指して～

発行：滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課 TEL/077-528-3492 FAX/077-528-4845 E-MAIL/df00@pref.shiga.lg.jp

## エコフオスター紹介〈甲賀管内〉

### Sweeper (スイーパー)

#### 活動場所：県道石部停車場線

(JR石部駅前から甲賀警察署石部交番前まで)

この団体の紹介にあたり、まず湖南市の教員や市議会議員、地域の方々に構成されている青少年指導支援の会の呉山代表にお話を伺いました。

青少年指導支援の会とは、問題行動に走りかけた青少年に対して、学習支援や地域の人権の権しへの参加等を通じて、健全な育成に導く活動を続けてこられた団体であり、エコフオスター活動もその一環で行っているそうです。

今回紹介する団体 Sweeper は、この青少年指導支援の会の活動により立ち直った、10 歳代から 40 歳代の 15～20 名程度で構成されているということでした。平成 15 年の発足以来、一回も欠かすことなく毎月第 2 日曜日の午前中に、石部停車場線を中心に湖南市石部地先の県道を清掃してこられました。

この日も、10 時に石部駅前に Sweeper の皆さんが集合され、リーダーの黒田さんのあいさつの後、活動を開始されました。



黒田さんの話によりますと、最近のごみの量は、活動の成果もあり、大きな袋が不要になるくらい減ってきたとのことでした。以前のことで、たばこの吸い殻を捨てている人に対して注意したこともあったとのことでした。また、メンバーの一人は、夜勤明けにもかかわらず、一睡もせずに参加されていました。そのこともあって、清掃活動中に、通りすがりの方からの「ありがとう」とか「ご苦労さん」

といった言葉によって、体が疲れていても心が安らぐと話す参加者もおられ、まじめに取り組んでいる様子が窺えました。

活動の最終地点になる石部交番前にて、所長からあいさつと労いの言葉を掛けられ、一緒にお茶を飲んでいただいたのが印象的でした。

今後の活動について黒田さんは、周囲への啓発を行っていくとともに、ごみのない美しい街を保てるようにしていきたいと話しておられました。

また、青少年指導支援の会の方から、Sweeper のメンバーには、地元の祭りや行事の中心となって、活発に取り組んでいる方もおり、地域社会の一人として活躍している姿を目の当たりにして心強く思うとともに、地域の活性化に貢献しているとのことをお話を聞くこともできました。



これからも地域の中心として活動していただき、街とともに人々の心についてもきれいにする活動を続けていただきたいと思います。

(甲賀環境事務所)

#### 平成 26 年度 びわ湖を美しくする運動について

滋賀県では、7 月 1 日を「びわ湖の日」と定めています。

この 7 月 1 日を基準日として今年度はおおむね 6 月 22 日から 7 月 6 日にかけて県内各地で環境美化活動が実施されています。

今年度の実施計画は下記リンク先をご覧ください。  
<http://www.pref.shiga.lg.jp/d/haikibutsu/sanzaisei/biwakonohi2014.html> (滋賀県ホームページ)

皆様の積極的なご参加をお願いします。



# 淡海エコフオスター通信

～美しいまちづくりを目指して～

発行：滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課 TEL/077-528-3492 FAX/077-528-4845 E-MAIL/df00@pref.shiga.lg.jp

## エコフオスター紹介〈東近江管内〉

### 株式会社 小漆間工業

活動場所：県道 大津能登川長浜線

(猪子信号交差点から瓜生川新能登川橋)

株式会社小漆間工業さんは公共場所の美化および保全のため、環境美化の高揚を図る地域活動を推進する目的で、平成20年8月1日から活動を開始されました。

毎月、第3土曜日の午前7時30分から8時までの30分間、全社員23名の内から、1回当たり10名程度の編成で、県道大津能登川長浜線「猪子信号交差点から瓜生川新能登川橋」間の500mの歩道を中心に清掃されています。

活動を始められた当初は、吸い殻、空き缶、菓子袋、ペットボトル、夏場は路肩の雑草等を市の指定ごみ袋3袋程に収集していたそうですが、年々減少傾向にあり、最近では、市の指定ごみ袋1袋まで減ってきたそうです。

ごみの種類別では、煙草の吸殻は年間を通して一定量のポイ捨てがあるとのことですが、傘や車のホイールキャップ等大きなごみは当初より大幅に減少したそうです。

清掃時間は交通量も多く一部歩道のない部分があるため、のぼり旗を携行するとともに、環境、エコを意識した黄緑の蛍光色帽子、黄緑蛍光反射ベストを常時着用し、交通安全に十分注意をはらっておられるそうです。



活動中に地元の人から「御苦労さまです。長年続いていますね。」と声をかけて頂いたり、会社のお客様や協力会社の方から「今朝、ごみ拾いされてましたね。」と労いの言葉を頂くことがあり、大変励みになり、さわや

かな気持ちになるそうです。

また、清掃活動を行うことによって、社員のモラルが向上し、コミュニケーションも活性化し、チームワークの向上につながるとおっしゃっていました。



取材の最後に「日頃お世話になっている地域の方々への感謝の気持ちを込めて、一日も長く清掃活動に取り組みます。」と大変有り難いお言葉を頂き感動いたしました。

(東近江環境事務所)

## 平成 26 年度 ごみゼロ大作戦の実績報告について

5月25日から6月8日までの期間を中心に実施されましたごみゼロ大作戦については、延べ31,799人の方々に御参加頂き、98,133キログラムものごみを回収して頂きました。(一部未集計の活動を除く)。

結果の詳細は下記リンク先をご覧ください。  
<http://www.pref.shiga.lg.jp/d/haikibutsu/files/h26zentai.pdf> (滋賀県ホームページ)

御参加頂いた皆様には心からお礼申し上げます。今後ともより美しい湖国の実現のために御協力をお願いします。



## エコフオスター紹介〈湖東管内〉

### 大日本スクリーン製造株式会社

**活動場所** 多賀街道（近江鉄道多賀街道踏切～高宮町東出交差点）約 1 km

大日本スクリーン製造株式会社彦根地区事業所は、彦根市高宮町にあり、半導体・液晶の製造装置を製造されています。

エコフオスター活動の歴史は長く、平成 15 年 5 月に社会貢献、地元貢献を目的に活動を始められ、毎月第 3 木曜日 15 時 30 分から、約 30 人で清掃活動をされています。



取材当日も、お揃いの赤いベストを着用し、道路の清掃活動に取り組んでおられました。お話を伺ったところ、「拾うごみは、タバコの吸い殻・空き缶・レジ袋・菓子袋が中心で、長年の活動により、ごみの量は少なくなった。」とのことで、当日は大袋の半分にも満たない量でしたが、道路周辺はすっかりきれいになっていました。「活動場所の多賀街道は、交通量が多いので、事故回避には特に気を付けています。これまでは、不法投棄された炊飯器などを回収したものの、電化製品の処分の仕方が分からず困ったこともありました。」と語っておられました。

普段の活動以外には、毎年 6 月から 7 月に行われる、地元自治会の太田川清掃活動にも協力されており、今年は 93 名が参加され、近隣の方々との結びつきがより深まったとのことです。

その他には、ペットボトルのキャップのリサイク

ル運動に協賛し、過去 490 人分のポリオワクチンを世界の子どもたちに届けられたほか、地元中学校の資源回収の際には場所を提供するなどの協力をしておられます。

「活動中に、“御苦労さま”と声をかけられると、やはりうれしくなります。取組を続けてきたことでごみの量は減りましたが、まだまだタバコのポイ捨てが多く残念に思っています。」と話しておられました。



活動時間になると皆さんが、当たり前のように集まり、自発的に取り組んでいらっしゃる姿が印象的でした。進んで環境美化に取り組まれていることに、改めて感謝の言葉をお贈りしたいと思います。

(湖東環境事務所)

## 琵琶湖岸漂着物対策支援事業について

台風等大雨の後には、琵琶湖岸に大量の流木、ヨシ、缶、ペットボトル等が打ち上げられます。

これらの漂着物について、発生状況や原因等を把握するため、循環社会推進課では、湖岸 6ヶ所で 5 月から 10 月にかけて漂着物の実態把握調査を行っています。

また、漂着物の処理については、琵琶湖の管理者である県と地元市が連携し、ボランティア等と協力しながら行っていますが、さらに円滑に活動ができるための仕組みについて、研究会を設置し、検討しています。

(循環社会推進課)



## エコフオスター紹介〈湖北管内〉

### 滋賀県立米原高等学校

#### 活動場所 県道樋口岩脇線

県立米原高等学校（村岡良信 校長）では、平成14年度から1年生のみなさんが学校周辺の道路を清掃して地域に貢献しておられ、平成16年5月にエコフオスター活動として登録、現在では定着した活動となっています。月1回のペースで、約240人が40人1組になり、放課後を活用しての活動です。

取材日は、お揃いの黄色のジャンパーを着用した生徒、1年4組40人と先生方の参加で、4コースに分かれてごみ拾いを開始されました。いずれのコースも慣れた通学路で、足取りも軽く熱心にごみを拾っておられます。



ごみの内容はペットボトル、空き缶、国道沿いは特にたばこの吸い殻が多く、ビニール袋16袋分を回収できました。生徒たちからは「なぜポイ捨てをするのか。ルールを守ってほしい。」「通学路がきれいになった。」「良いことをしているのって、気分がいいです。」などの感想が聞けました。

米原高等学校は、今年11月に創立50周年の記念式典が開催されます。校訓は「清純敦厚」で、清純は「清らかで素直なこと」、敦厚は「真心があって人情深いこと」という意味です。このような優れた人格を育成するというお考えです。村岡校長から「生徒が熱心のあまり民家の敷地に置いてあった手袋までごみと間違えて回収し、あとでお叱りを受けたことがあった。」とエピソードを話され、御担当の宮本先生からは「活動を通じて

生徒には自分を管理できる人間になってほしい。今後の清掃活動は全校生徒、クラブ単位等で行うことも考えてみたい。」と熱い思いが聞けました。



清掃が終わって、生徒のみなさんにはさわやかな汗が光っていました。今後も環境美化意識を高く持つ人間が育成されていくことでしょう。

（湖北環境事務所）

#### 県内各地でボランティアによる清掃活動が実施されています

9月19日（金）午前中に大津市なぎさ公園の湖岸で読売わいず倶楽部大津交流会23名によるボランティア清掃活動が実施されました。

一昨年、昨年に引き続き3回目の活動となったこともあり、慣れた手つきでたばこの吸い殻、缶、ペットボトル等24袋分を回収されました。

参加者からは「昨年は台風18号直後だったので、ごみの量も多かったが、今年はそれほどでもない。」「水草が目立つ。」等の声があがっていました。





また、なぎさ公園を散歩されていた方が「私もこのような清掃活動に参加したいがどうすればよいのか。」と参加方法について、読売わいず倶楽部事務局の方に尋ねられていました。

今後も活動の輪が広がり、継続した活動となることを願っています。

その他9月6日(土)には「第5回 コープしがびわ湖清掃ウォーク」が長浜市の湖岸および湖周道路で実施され、コープしが組合員、役職員とその家族、一般の参加者等305人が可燃物240kg、不燃物2kgを収集されました。

また、10月12日(日)にはJR大津駅前広場で日本たばこ産業株式会社による「大津祭ひろえば街が好きになる運動」、10月19日(日)には県各地の湖岸で一般社団法人滋賀県トラック協会による「ぐるっと・びわ湖・クリーンアップ」が実施予定であり、県内各地で清掃イベントが繰り広げられます。

(循環社会推進課)

### びわ湖を美しくする運動の実績報告について

7月1日を基準日として6月22日から7月6日にかけて展開しました「びわ湖を美しくする運動」については、県内外から約136,634人の方々に御参加いただき、約982トンのごみ等を収集することができました。

詳細につきましては下記リンク先をご覧ください。

○滋賀県循環社会推進課ホームページ

<http://www.pref.shiga.lg.jp/d/haikibutsu/index.html>

特に7月上旬は梅雨前線や台風8号の影響で雨の日が多かったですが、多くの方に御協力をいただき、誠にありがとうございました。

(循環社会推進課)



### 平成26年度上半期淡海エコフオスター合意団体について

平成26年度上半期に淡海エコフオスターに合意いただいた団体を御紹介します。

○重田組(近江八幡市)

実施場所: 県道大房東横関線

合意日: 平成26年5月1日

○春日建設株式会社(彦根市)

実施場所: 犬上川河川堤防左岸

合意日: 平成26年5月21日

○タナカ重建(近江八幡市)

実施場所: 白鳥川

合意日: 平成26年7月17日

○有限会社落合電機(高島市)

実施場所: 県道小荒路牧野沢線

合意日: 平成26年7月18日

○株式会社ダイヤワーク(甲良町)

実施場所: 県道敏満寺野口線

合意日: 平成26年8月18日

各地域での御活躍を期待しています。

(循環社会推進課)

